

勝教発第 9 5 5 号
令和 6 年 9 月 1 0 日

勝山市議会議長 殿

勝山市教育委員会
教育長 油谷 泉

教育委員会点検・評価報告書（令和 5 年度対象）の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条第 1 項の規定に基づき、別紙のとおり
教育委員会点検・評価報告書（令和 5 年度対象）を提出します。

教育委員会点検・評価報告書
(令和5年度)

令和6年9月

勝山市教育委員会

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年6月に改正され、平成20年4月1日から施行されました。

これを受け、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たしていく為に行うものです。

なお、具体的な点検及び評価項目や報告書の様式、議会への報告、公表の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて行うこととされています。

2 令和5年度点検・評価の方法及び経緯

(1) 令和5年5月定例教育委員会（5月23日開催）

点検・評価表の対象項目を協議するとともに、素案について協議しました。点検・評価の対象項目を下記3のとおり決定するとともに、点検・評価の方法及び評価例を下記4、5のとおり決定しました。

(2) 令和5年11月定例教育委員会（11月24日開催）

点検・評価の中間取組状況、中間時点での課題等について、教育委員会でのヒアリングを実施しました。

(3) 令和6年5月定例教育委員会（5月21日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会でのヒアリングを実施し、全項目の評点を決定しました。

3 対象項目

令和5年4月定例教育委員会協議事項において説明した「各課の重要課題と取組方針」をベースに、重点とすべき項目を対象項目としました。その結果、6項目が評価の対象となりました。

4 方法

(1) 対象項目ごとに点検・評価表の作成とともに、まず担当課による自己点検・自己評価を求めました。次に、教育委員会内の横断的な観点も含め事務局内で相互点検・評価を行いました。

(2) 上記(1)を参考資料として定例教育委員会でのヒアリングを実施し、教育委員会（委員5名の合議体）による最終の点検・評価を行いました。

5 評価例

取組目標に対する達成状況を基準にして評価対象の難易度を勘案し、最終的に教育委員会が次の基準（１～５）に沿って行いました。
また、特に評価の過程で点検・論議された課題等について、必要に応じて記載しました。

5	十分な成果があった
4	かなりの成果があった
3	最低限の成果はあった
2	あまり成果がなかった
1	まったく成果がなかった

6 点検・評価にあたって

評点は、難易度を斟酌して付しています。また、課題等は、次年度の目標設定におけるフィードバックを念頭に置き、論議した事項を記載しました。

以上の点検・評価の結果は、各評価対象項目における主な取組内容、評点及び課題等にして一覧表にとりまとめました。

また、今回の報告にあわせて教育委員会の構成と教育委員の任期並びに教育委員会の開催回数と内容等についても、添付させていただきました。

令和５年度勝山市教育委員会の点検・評価表

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
1	勝山市立中学校の再編への対応	4	・令和９年４月１日開校に向けて、基本設計・実施設計の完了、工事スケジュール等の調整、工事発注等を遅延なく行う必要がある。 ・スクールバスのルート、対象者、運行時刻などをさらに詳細に詰める必要がある。 ・教育課程や教育内容等について協議を進める必要がある。
	1 基本計画の推進 ①・年間で再編準備委員会を５回、総務部会を３回、学校運営部会を６回、ＰＴＡ部会を２回、施設整備部会を４回、ワーキングチーム会議を５回開催した。 ・校名を「勝山市立勝山中学校」に決定、制服、体操服を選定した。 ・スクールバス利用を１．５ｋｍ以遠まで拡充し、路線バスの活用を検討した。 ②・基本設計を１１月の新中学校建設特別委員会にて報告した。委員会の協議の中で除雪計画、大階段の設置個所、面積等について再度検討した。 ・設計内容の変更などから基本設計は令和６年４月末目途、実施設計は令和６年８月末を目途に策定することとなった。 ③・新中学校建設特別委員会が１０月２７日以降９回開催され、その都度進捗状況等を報告し、協議を行った。 ・５月以降毎月広報かつやまに中学校再編に関する特集記事を掲載した。 ・教職員と語る会を９回、中高生徒と語る会を１２回開催した。 ・新中学校開校に向けた説明会を一般市民を対象に９小学校区で開催した。 ・３月議会において新中学校建設に係る予算、及び市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正が可決された。		
2	教育環境の整備・充実	3	・給食調理の業務委託や保護者負担のあり方についてのさらなる検討が必要である。 ・新たな給付金制度について具体的に検討する必要がある。 ・幼稚園の廃園に向けた準備、こども課と連携した幼児教育や幼小接続の推進をしていく必要がある。
	1 学校給食業務体制等の検討 ・令和７年度からの業務委託に向け方針等を検討した。引き続き、課題、スケジュール、業者選定方法等の整理・検討を行う必要がある。 ・給食費の保護者負担軽減については、令和５年度から実施している炊飯業務委託等による負担軽減を今後も継続することとし、保護者の給食費負担額を増額しないこととした。		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
2	2 奨学金制度等の検討 ①制度設計などについて検討を行ったが、今後のあり方について結論は出なかったため、今後も検討を継続する。 ②関係課との協議を行ったが、新たな給付制度について結論は出なかったため、今後も協議を継続する。 3 学校改修工事等の推進 ①・計画していた小学校8件、中学校2件の改修工事等を全て実施した。 ・急遽対応が必要となった改修工事等についても各学校の状況や緊急性等を踏まえながら随時対応した。 ②・長寿命化に向けた個別施設計画の見直しが充分進まなかったため、令和6年度も引き続き検討する必要がある。 ③・令和6年度当初予算で新中学校建設工事費等を予算化した。今後は国庫補助認定申請のための事務作業を進める必要がある。 4 小中学校の I C T機器の充実 ①校務用パソコンの更新及び職員室内の Wi-Fi 設置についてスムーズに進めることができた。 ②中学校の技術授業用のプログラミング学習教材について令和6年度での導入が見送りとなった。引き続き予算化に向けて検討する必要がある。 5 学校敷地の賃貸借契約の適正化 ・学校単位で説明会の実施を検討したが、地権者個別に交渉する方針が示されたことから説明会は開催しなかった。個別で交渉にあたったが、教育委員会全体での動きが取れず十分な交渉ができなかった。	3	

No.	評価対象項目		評点	課題等																								
	主な取組内容																											
3	新しい時代にたくましく生きる力を育む学校教育		4	・学校訪問の参観授業からは個別最適な学びを充実させる取組がまだまだ浸透していないことが伺えたため、さらなる研究を進めていく必要がある。 ・小学校における学校評価において、ポイントが大幅に低下した項目が増えた。次年度に向け、以下のような取組を推進していく必要がある。 (1)「授業は分かりやすい」 →小5：1. 20ポイント(前年度1. 52ポイント) 各校に全教員のさらなる授業力向上に努めるとともに、児童との信頼関係づくりにも力を入れていくよう指導した。 (2)「タブレットを積極的に使って学習に取り組んでいる」 →小5：1. 17ポイント(前年度1. 62ポイント) 下がった理由としては、効果的な場面で使用することに力を入れた研究を推進してきたことが考えられる。 今後は文房具として、児童生徒が調べるときに、自然と活用できるようさらに支援していく。 (3)「明るく元気にあいさつしている」 →小5：1. 06ポイント(前年度1. 39ポイント) 小中の連携のもと、地域全体に明るいあいさつが広がる取組を推進していく必要がある。 (4)「今年度、学校では、いじめを見たり聞いたりしていない」 →小5：0. 85ポイント(前年度1. 31ポイント) 小学校では、ポイントが大幅に低下していることを踏まえ、関係機関と連携を図りながら、いじめや暴力は許されない行為であることを児童生徒へ周知し、未然防止への取組をさらに進めていく必要がある。家庭との連携協力も不可欠である。 ・不登校の数は令和4年度と比べて増加しなかったが、いじめや問題行動等の未然防止に力を入れ、教職員間の情報共有を密にしながら、安心できる学校生活環境を整え、関係機関との連携を取りながら、啓発活動にも力を入れていく。 ・中高連携の一環として、各中学校の研究項目にめざす生徒の姿を明記し、共有して探究学習を進めるよう指導する。																								
	1 児童生徒が主体の楽しくわかる学びの推進																											
	①後期学校訪問の研究会において、各校が学校評価や校内研究の進捗状況を報告授業を参観し、学習支援が計画的に行われていることを確認																											
	10/4 野向小(算数科) 10/6 三室小(生活科) 10/11 荒土小(保健体育科)																											
	10/18 平泉寺小(算数科) 10/20 村岡小(学活) 10/23 成器南幼																											
	10/24 鹿谷小(道徳) 10/27 成器南小(道徳) 10/30 勝山中部中(理科)																											
	10/31 北郷小(国語科) 11/1 勝山南部中(道徳) 11/15 勝山北部中(保健体育科)																											
	11/21 成器西小(算数科)																											
	②県のタブレット端末活用事業実施校(成器西小学校と勝山中部中学校)が、学習者用デジタル教科書を活用した提案授業を公開 市内外多くの教員が参観																											
	成器西小は、算数科において図形単元やグラフを描く単元での操作活動が効率よくできること、勝山中部中は、国語の本文から描写を描き抜く時間を短縮することにより考える時間を十分に確保することについて提案																											
③各学校において、以下のテーマを設定し「引き出す教育・楽しむ教育」について研究を推進 各校の実践報告については、「ふくいわくわく学びweb」に掲載																												
<table><tr><th>No</th><th>小学校名</th><th>テーマ</th></tr><tr><td>1</td><td>平泉寺小学校</td><td>子どもが主体的に取り組む地域の魅力発信学習</td></tr><tr><td>2</td><td>成器南小学校</td><td>自分の考えをつないで、学びを広げるためには？ ～「なるほど」「わかった」「できた」があふれる授業づくりを通して～</td></tr><tr><td>3</td><td>成器西小学校</td><td>地域と関わり、「自分たちにできること」を発信する</td></tr><tr><td>4</td><td>村岡小学校</td><td>「人権教育」と「ポジティブ教育」を基盤とした授業研究</td></tr><tr><td>5</td><td>三室小学校</td><td>活動や交流を通して、地域の宝をさらに探り、発信する</td></tr><tr><td>6</td><td>野向小学校</td><td>子どもの主体性を引き出すわたり学習</td></tr><tr><td>7</td><td>荒土小学校</td><td>児童の主体的で対話的な学びを育成する授業等の研究</td></tr><tr><td>8</td><td>鹿谷小学校</td><td>すすんで学び合う子の育成 ～「知りたい！やりたい！伝えたい！」～</td></tr></table>		No	小学校名	テーマ	1	平泉寺小学校	子どもが主体的に取り組む地域の魅力発信学習	2	成器南小学校	自分の考えをつないで、学びを広げるためには？ ～「なるほど」「わかった」「できた」があふれる授業づくりを通して～	3	成器西小学校	地域と関わり、「自分たちにできること」を発信する	4	村岡小学校	「人権教育」と「ポジティブ教育」を基盤とした授業研究	5	三室小学校	活動や交流を通して、地域の宝をさらに探り、発信する	6	野向小学校	子どもの主体性を引き出すわたり学習	7	荒土小学校	児童の主体的で対話的な学びを育成する授業等の研究	8	鹿谷小学校	すすんで学び合う子の育成 ～「知りたい！やりたい！伝えたい！」～
No	小学校名	テーマ																										
1	平泉寺小学校	子どもが主体的に取り組む地域の魅力発信学習																										
2	成器南小学校	自分の考えをつないで、学びを広げるためには？ ～「なるほど」「わかった」「できた」があふれる授業づくりを通して～																										
3	成器西小学校	地域と関わり、「自分たちにできること」を発信する																										
4	村岡小学校	「人権教育」と「ポジティブ教育」を基盤とした授業研究																										
5	三室小学校	活動や交流を通して、地域の宝をさらに探り、発信する																										
6	野向小学校	子どもの主体性を引き出すわたり学習																										
7	荒土小学校	児童の主体的で対話的な学びを育成する授業等の研究																										
8	鹿谷小学校	すすんで学び合う子の育成 ～「知りたい！やりたい！伝えたい！」～																										

No.	評価対象項目			評点	課題等
	主な取組内容				
3	No	小学校名	テーマ	4	
	9	北郷小学校	児童が自他を認め、全員参加できる授業の工夫		
	10	勝山南部中学校	生徒が主体性をもち、理解を深めることができる授業づくり		
	11	勝山中部中学校	自ら課題を見つけ、課題解決に向かって活動できる生徒の育成 ～生徒の主体性を引き出す働きかけの工夫～		
	12	勝山北部中学校	生徒が主体的、協働的に学ぶ授業の工夫		
	④学力向上研修会の実施 1/31 研究主任対象　S A S Aの結果を踏まえ市全体の傾向として課題が見られる問題について、実際に問題を解き、今後の指導法や授業の在り方について協議				
	⑤次年度へ向けて 1 学期と 2 学期に行った学校評価をもとに、各学校が、分析および授業改善のための取組検証を実施　次年度へ向けて、研究や授業改善のために生かすよう依頼 市全体としては以下の 2 点に課題あり（2 学期の学校評価を前年度と比較） ＊学校評価の各項目は、－ 2 ポイント（最低）から＋ 2 ポイント（最高の満点）で表示（以下同じ） 「授業は分かりやすい」 →小 5：1.　2 0 ポイント（前年度 1.　5 2 ポイント） 中 2：1.　4 2 ポイント（前年度 1.　1 6 ポイント） ＊小学校では大幅にポイント減　中学校では大幅にポイント増 「タブレットを積極的に使って学習に取り組んでいる」 →小 5：1.　1 7 ポイント（前年度 1.　6 2 ポイント） 中 2：1.　1 3 ポイント（前年度 1.　0 7 ポイント） ＊小学校では、大幅にポイント減				
	⑥小中の系統的な外国語教育のあり方についての研究と実践の継続 外国語科および外国語活動の指導について外国語支援員やA L Tと教材研究（月 1 回） 7/21 12/26 小学校外国語活動・外国語科授業づくり研修会 3/25 小中学校合同外国語教育授業づくり研修会				

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	2 お互いを認め合い一人ひとりのニーズにあわせた支援 ①いじめ問題対策 4/27 7/7 12/1 いじめ問題対策連絡協議会 ・各校において、道徳授業の公開（授業参観日等）、いじめや人権問題を扱った授業の実施 ・各校において、いじめアンケートや教育相談を定期的の実施 ・学校評価「今年度、学校では、いじめを見たり聞いたりしていない」 →小5：0. 85ポイント（前年度1. 31ポイント） 中2：1. 58ポイント（前年度1. 05ポイント） ②不登校の未然防止のための意識調査の実施 10/4～11/21 後期学校訪問の研究会時に、各校が4観点の意識調査をもとに取組を検討したことについて報告 12/1 生徒指導主事会で意見交換 ③ポジティブ教育の推進 1/12 ポジティブ教育担当者会 県教育総合研究所の担当者から助言 ・各校における実践 ・公開授業（村岡小 鹿谷小） ④福祉教育の推進 全小中学校 市社会福祉協議会と連携し福祉体験 ・シニア体験 ・妊婦体験 ・赤ちゃんお世話体験 ・各地区のふれあいサロン企画交流 ・車椅子体験 ・独居老人へのプレゼント ・障がい者スポーツ体験 ・認知症講座 ・すこやかフェスタ参加 ・福祉学習交流会参加	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	⑤「チームによる学校づくり」の推進 11/30 第2回奥越地区特別支援教育研修会 各校特別支援コーディネーター対象 校内研修の内容とその後の校内支援の変容について情報交換 気がかりな児童生徒に対する支援および次年度への移行支援の方法と内容について情報共有 ・気がかりな児童生徒に対する情報共有 10月SSWが全小中学校へ訪問 こども課子育て相談係も同行 全小中学校で校長と情報共有 適応指導教室との定期的な情報共有 必要に応じて連携し学校の支援体制を支援 ⑥幼小接続 12/25 スタートカリキュラム研修会 1/26 幼小接続協議会 夏に小学校教員が園を訪問して見とった子どもの学びから、各小学校区で令和6年度の目標を設定 令和6年度新1年生について、必要な配慮や支援について小学校と共有 10/4～11/21 各小学校の後期学校訪問の授業公開に保育士が参加 ⑦教員の各種研修会 人権教育研修会、不登校対策研修会、カウンセリング研修会等への参加を推進 3 健やかな体づくりと安全安心な環境の構築 ①デジタルシティズンシップ教育の推進 10/4～11/21 後期指導主事訪問において、各校に教員対象の研修会を紹介し参加を依頼 研究主任を中心に各校の取組紹介 ②避難訓練（不審者やクマ対応）の実施により自分の命を守る意識育成 10/20 鹿谷小 10/20 勝山中部中 10/25 成器西小 10/31 平泉寺 11/6 勝山北部中 11/9 勝山南部中 11/14 北郷小 11/16 成器南小 11/20 村岡小 11/22 三室小 11/27 野向小 11/28 荒土小	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	③体力向上や運動の習慣化の推進 体育の公開授業を参観し各校で良いところを取り入れられる場の提供と外遊びを推奨し運動が好きな子の育成の推進 ④栄養教諭等による食育推進 ・給食巡回時や学級活動において担任と連携 ・地場産物を活用した献立の実施 4 地域と連携したふるさと教育と信頼される学校づくり ①各学校における探究的な学習への取組 地域の特色を生かした題材を用い、これまで実施してきた活動をもとに課題を設定し解決へ 県外の学校とオンラインでの交流 ・平泉寺小→岐阜県飛騨市宮川小学校 ・成器南小→長野県山ノ内町立西小学校 ②E S D担当者連絡協議会（年3回） 第3回は、ふくいユネスコスクール交流会に参加し、勝山市を代表して村岡小学校の取組を児童が発表 継続して取り組んでいる「ミチノクフクジュソウ」の保全活動が高評価 ③地域ぐるみであいさつが活発な児童生徒を育成 学校評価「明るく元気にあいさつしている」 →小5：1. 06ポイント(前年度1. 39ポイント)、 中2：1. 41ポイント(前年度1. 23ポイント) ＊小学校はポイント減 中学校はポイント増 ④ふるさと教育への取組 ・福井ふるさと教育フェスタ参加 成器西小学校 ステージ発表 ・ふるさと福井CMコンテスト 小学校部門 奨励賞 成器南小学校、北郷小学校 ・ふるさとの学び特別賞 優秀賞 成器南小学校 ⑤全中学校2年生対象の14歳の挑戦の実施 勝山市内の企業を中心とした職業体験 73カ所 175名参加	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	⑥小学校5年生対象のかつやまこども恐竜スクールの実施（全7回） ⑦各学校で学校運営協議会を実施（年2～3回） 学識経験者および地域の方から学校の運営について助言 年度末に評価 ⑧学校教育の自己点検・自己評価および学校評価書の作成 各校が2学期末に行い、3学期に分析、次年度の計画へ 5 教職員が児童生徒と過ごす時間を確保し意欲的に勤務するために ①教職員の勤務実態を把握し、働き方に対する意識改革の推進 昨年度までは、時間外在校等時間が80時間以上の教職員を減らすことを目標にしてきたが、本年度の中間取組状況で示したように毎月ほぼ0人になってきたので、本年度1学期末からは「時間外在校等時間が45時間以上の教職員を減らそう」と各校に声をかけた。校長会や教頭会で毎月出退勤調査の結果を示したり、全教職員が毎日出退勤を入力し月の中旬で各自の勤務状態を振り返り下旬の勤務時間の目標を確認したりして意識を高めた結果、時間外在校等時間が45時間以上の教職員は、昨年度40.4%だったが本年度は37.4%になった。 ②教職員業務の適正化・効率化 ○提出文書の削減（学年学級閉鎖申請なし報告書のみ 産休育休代替教員配置願なし） ○校務支援システムC4th活用 ・児童生徒の欠席連絡→朝の慌ただししい電話対応なし ・おたより印刷なし→ペーパーレス ・成績処理・指導要録作成 ○水泳学習 市営温水プールで外部委託→インストラクター指導→業務軽減 ○給食調理員 炊飯業務なし→当番制早出出勤なし ○全小中学校に学校運営支援員 配置 ○大雨対応 前日に市教委メール文3案作成し校長会へ送信→当日朝判断し一斉送信 ○支援員充実 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・適応指導教室指導員 特別支援教育支援員・個別教育支援員・少人数学習指導支援員・小学校生活支援員・登校支援員・部活動指導員 ★上記の対応により教職員の負担を軽減	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
4	質の高い保育・教育環境の推進 1 幼児教育と小学校教育の連携強化と質の高い保育・教育環境の推進 ①幼児教育・保育支援事業の巡回相談を各園年2、3回ずつ実施。気がかり児に対する保育士の対応や保護者支援など保育士の質の向上に向け、教育監（幼小連携担当）、指導主事、保育カウンセラー、専門機関アドバイザー、保健師と訪問し、意見交換や情報共有を行った。今年度から5歳児就学前相談会前に4歳児を対象に巡回相談を実施したことで、就学に向けての支援について情報共有ができた。 ②来年度に向け各園にアンケートを実施。今年度、実施した歌やゲームなどは子どもたちにも喜ばれ、英語に親しむことができていたので、引き続き園児と国際交流員との交流を実施する。また、園からの要望も受け入れ、国際交流員と保育をつなげられるように工夫した。 ③コロナ後、久しぶりに校区毎の5歳児交流保育を実施し園児同士のふれあいができた。幼小接続協議会にて5歳児担任と1年生担任と一緒に研修や意見交換の実施、小学校教諭の保育参観や情報共有を実施した。 ④幼児教育推進委員会園長部会で検討した「かつやまっこすくすくビジョン」を策定した。 2 児童センターの安心安全な運営 ①災害やクマ出没時、感染症対応時に小学校と児童センターで情報共有を行い、小学校の連絡ツールを使って児童館の情報を発信した。令和6年度から児童館利用の欠席連絡については、メールで連絡できるように調整、児童館だよりについてはアプリで情報発信できるようにした。 ②各児童センターの安全計画を策定し、職員全員で共有するようにした。今後は毎年、見直しや職員で確認をしていく。	4	・「かつやまっこすくすくビジョン」に基づいた取組の実施 ・幼児教育の質の向上に向けた指導体制の整備 ・国際交流員との連携強化と国際交流活動の推進 ・児童センターの土日集約に向けて職員配置や運営のあり方の検討

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	結婚・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援 1 1. 子育て世代包括支援センターとして妊娠期から子育て世代に寄り添った支援 ①出産・子育て応援金給付事業 出産応援金 90 件 子育て応援金 86 件 11 月より現金給付の他にデジタル通貨の給付も開始 ②母子保健関係の相談件数 のべ 153 件 ③健康体育課と 5 歳児就学前相談会の共同実施。年間通して 1 歳半検診、3 歳児健診での協力とカンファレンスでの情報共有 2. 虐待防止の取り組み ①児童相談所を含めた要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1 回 実務者会議 4 回実施。家庭児童相談 のべ 304 件 家庭訪問 25 件 面談 22 件 を実施し、要保護家庭への支援を随時実施 ②ケース会議 24 回を児童相談所や各関係機関と連携し開催 ③要対協管理ケースのべ 22 名 家庭訪問 15 件 早期に介入し、家庭訪問などを通し家庭の見守りを行った。 3. ひとり親への支援 ①②ひとり親に関する相談 のべ 407 件 ③夏休みと冬休みに小学生への学習会の開催 3 回 ④ひとり親家庭への自立支援を目的とした事業 0 件 ⑤教育委員会と一体化したことにより、ひとり親の貸付と奨学金などの組み合わせた相談・申請をワンストップで対応 4. 結婚相談 ①結婚相談会の相談件数のべ 126 件 その他相談件数 のべ 119 件 ②親御さん向けの結婚セミナーや婚活イベントのバスツアー 2 回（9 月・3 月）イベントの前のフォローアップ講座を 1 回開催し、相談員によるアフターケアも実施 ③結婚新生活支援事業 4 件 U29、U25 夫婦支援事業 11 件 11 月より開始。広報やHPにて事業の周知を実施	4	・こども家庭センターの開設に伴い、妊娠、出産、子育て、貧困、ヤングケアラーに関する相談や申請について、関係機関と連携し対応する。 ・「こどもまんなか応援サポーター宣言」をし、SNS や広報、ホームページにて子育て情報を発信し、社会全体で子育てを応援する機運を醸成する。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	5. その他各種相談 ①DVなどの女性相談 のべ12件 ②その他、子育て相談の件数 のべ358件	4	
6	結婚・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援2 1 第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7年度から令和11年度まで）の策定準備 ①計画の基本理念等についてはアンケート結果を分析した上で次年度に検討 ②未就学児童及び小学生の保護者対象のアンケートを1月に実施し、結果の集計及び分析中 ③11月29日開催の子ども・子育て支援審議会において、事業計画の実施状況報告や幼児教育・保育の指針等について意見を収集 2月22日にはアンケートの速報、次年度の子育て支援策、幼児教育・保育の指針（かつやまっこすくすくビジョン）について説明及び意見を取集 2 公立保育園（野向・平泉寺）の廃園に係る園児・保護者に寄り添った対応 ①転園に向け6月に希望先の聞き取りを行い、7・8月に見学会を実施 ②転園希望先の園児との交流会を10・11月に実施 ③転園時に購入が必要な物品費用の助成を実施 3 子育て世帯に対する切れ目のない支援の実施 ①児童手当や子ども医療費など各種給付事務の適正な執行を行った ②新たな給付制度について、関係課との協議を継続 ③全天候型の遊び場整備について関係課との協議を継続 整備に伴う実施設計事業費についてはR7年度当初予算で計上予定 4 私立保育園及び認定こども園に対する適正な支援の実施 ①各園の定員数について10月から定員の105%まで入園を可能とする弾力的運用を行い適切な管理を継続 ②私立園長会に定期的に参加し情報交換を実施 保育士不足解消の要望を受け、保育士の派遣を制度化	4	・新たな給付制度について、財源の確保が課題となっている。 ・全天候型の遊び場整備について、幅広く意見を集約し計画に反映するとともに、令和8年度完成に向けスケジュール感をもち進めていく必要がある。 ・保護者のニーズを踏まえた病児保育事業の拡充を推進する。

【参考】

1 教育委員会の構成（令和6年3月31日現在）

職 名	氏 名	教育委員任期
教育長	油谷 泉	令和5年 3 月 2 6 日から令和8年 3 月 2 5 日（2期目/着任日：令和4年4月1日）
教育長職務代理者	島田 さよ子	令和4年 6 月 2 0 日から令和8年 6 月 1 9 日（3期目）
委員	池内 美和子	令和5年 4 月 1 日から令和9年 3 月 3 1 日（1期目）
委員	田中 修二	令和5年12月24日から令和9年12月23日（2期目）
委員	齊藤 雅昭	令和3年 3 月 2 6 日から令和7年 3 月 2 5 日（1期目）

2 教育委員会の開催回数、内容

（1）開催回数 13回（定例12回、臨時1回）

（2）内 容 次のとおり

○ 令和5年4月定例教育委員会 令和5年4月18日（火）

- ・ 令和5年度 教育委員会事務局の重要課題と取組方針について
- ・ 令和5年度 教育委員会事務局の予算について
- ・ 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金について

○ 令和5年5月定例教育委員会 令和5年5月23日（火）

議案第1号 令和5年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択に係る決議について

- ・ 令和4年度 勝山市教育委員会の点検・評価について

- ・令和５年度勝山市教育委員会の点検・評価について
- ・令和５年度学校運営協議会の委員について

- 令和５年６月定例教育委員会 令和５年６月１９日（月）
 - ・勝山市学校給食事業補助金交付要綱の制定について
 - ・福井県書写書道研究大会事業補助金交付要綱の制定について
 - ・私立保育園等施設整備補助金について
 - ・かつやまっ子の勝山満喫事業について
- 令和５年７月定例教育委員会 令和５年７月１９日（水）
 - 議案第２号 子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例施行規則の一部改正について
 - 議案第３号 幼児教育・保育支援事業実施要綱の一部改正について
 - ・令和５年度 勝山市教育委員の保育園・こども園・幼稚園・小中学校視察について
 - ・新規外国語指導助手（ALT）の着任について
 - ・夏休み期間のプール開放について
 - ・校名募集及び服装のあり方アンケートについて
- 令和５年７月臨時教育委員会 令和５年７月２８日（金）
 - 議案第４号 令和６年度使用教科用図書の採択について
- 令和５年８月定例教育委員会 令和５年８月２２日（火）
 - ・教育委員会の点検・評価報告書（令和４年度）の提出について
 - ・令和５年度 勝山市教育委員 幼稚園・学校視察について
 - ・令和５年度 勝山市教育委員 保育園・こども園視察について
 - ・令和５年度 後期指導主事訪問について
- 令和５年９月定例教育委員会 令和５年９月２２日（金）
 - ・児童センターの活動について
 - ・校名募集、制服・体操服アンケートの結果について

- ・魅力ある学校を中学生と語る会の経過報告について

- 令和5年10月定例教育委員会 令和5年10月23日（月）
議案第5号 私立保育園等運営費等補助金交付要綱の一部改正について

- ・新中学校開校に向けた準備について（校名、制服・体操服）
- ・小学校水泳授業及びプール開放アンケート結果について
- ・結婚新生活支援に係る補助事業の実施について
- ・ふく育応援事業について
- ・物価高騰対策（保育園等給食材料費高騰対策事業）について
- ・保育の職場づくり総合対策事業について
- ・公立幼稚園・保育園について
- ・損害賠償の額を定めることについて

- 令和5年11月定例教育委員会 令和5年11月24日（金）
・令和5年度教育委員会の点検・評価（中間）について
- ・新中学校基本設計（案）について

- 令和5年12月定例教育委員会 令和5年12月22日（金）
・公立幼稚園・保育園の廃園について
- ・市保育士の派遣について
- ・勝山市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査について
- ・令和5年度卒業証書授与式のご臨席並びに祝辞・告辞者について

- 令和6年1月定例教育委員会 令和6年1月26日（金）
議案第6号 勝山市立保育園の設置及び管理に関する条例施行規則の廃止について
議案第7号 勝山市立平泉寺保育園運営規程の廃止について
議案第8号 勝山市立野向保育園運営規程の廃止について
議案第9号 延長保育事業実施要綱の一部改正について
議案第10号 勝山市立幼稚園管理規則の廃止について

議案第 11 号 子どものための教育・保育給付及び子育てのための施設等利用給付に係る支給認定等事務要綱の一部改正について

- ・校名の選定について
- ・制服・体操服の選定について
- ・新中学校校舎等の基本設計（案）について
- ・新中学校の開校に向けた説明会について
- ・令和 5 年度 卒業証書・卒園証書 授与式のご臨席並びに祝辞・告辞者について

○ 令和 6 年 2 月定例教育委員会 令和 6 年 2 月 22 日（木）

- ・令和 5 年度卒園式卒業式 並びに 令和 6 年度入学式・入園入学在籍予定数
- ・公立保育園閉園式について

○ 令和 6 年 3 月定例教育委員会 令和 6 年 3 月 27 日（水）

議案第 12 号 私立保育園等運営費等補助金交付要綱の一部改正について

議案第 13 号 子育て生活応援隊事業実施要綱の一部改正について

議案第 14 号 勝山市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の廃止について

議案第 15 号 子育てのための施設等利用給付に関する要綱の廃止について

議案第 16 号 私立保育園等運営費等補助金交付要綱の廃止について

議案第 17 号 児童インフルエンザ予防接種費補助金交付要綱の廃止について

議案第 18 号 「ふれあいの里・かつやまっ子」すくすく育成奨励金交付要綱の廃止について

議案第 19 号 在宅育児応援手当支給事業実施要綱の廃止について

議案第 20 号 特定教育・保育施設における副食費の徴収に関する事務取扱要綱の廃止について

議案第 21 号 勝山市立新中学校（勝山市立勝山中学校）の制服及び体操服について

議案第 22 号 勝山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

議案第 23 号 勝山市教育委員会事務局処務規程の一部改正について

議案第 24 号 勝山市教育委員会個人情報保護規則の一部改正について

- ・令和 5 年度卒園式卒業式 並びに 令和 6 年度入学式・入園入学在籍予定数
- ・就学支援委員会条例の一部改正について
- ・勝山市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について

- ・勝山市母子父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について
- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・結婚支援事業について
- ・児童手当について
- ・児童扶養手当について
- ・保育料完全無償化について
- ・病児保育事業について
- ・こども家庭センターの設置について
- ・こどもまんなか応援サポーター宣言について
- ・令和6年度 学校教育における重点事項と取組方針について
- ・勝山高校特別教棟 改修計画（案）について